

所属名	事務事業名	ページ番号
農村環境課	農業用施設維持補修事業	2
農村環境課	水路浚渫事業	3
農村環境課	農村公園維持管理事業	4
農村環境課	市川活性化施設管理運営経費	5
農村環境課	排水機場維持管理事業	6
農村環境課	多面的機能支払事業	7
農村環境課	国営造成施設管理体制整備促進事業	8
農村環境課	横堤保存事業	9
農村環境課	基幹水利施設管理事業	10
農村環境課	基幹水利施設ストックマネジメント事業	11
農村環境課	農道整備事業	12
農村環境課	農地耕作条件改善事業	13
農村環境課	水草除去事業	14
農村環境課	水草対策浚渫事業	15
農村環境課	クレーク防災機能保全対策事業	16
農村環境課	土地改良施設適正化補助事業	17
農村環境課	経営体育成基盤整備事業（法定）	18
農村環境課	経営体育成基盤整備事業	19
農村環境課	かんがい排水事業	20
農村環境課	農業水路等長寿命化・防災減災事業	21
農村環境課	農村振興総合整備事業	22
農村環境課	地盤沈下対策事業	23

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	農業用施設維持補修事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 農業土木係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	農家が行う農業施設及び集落水路の簡易的な維持に対する材料支給と、農家が行うには困難な施設（堰・樋管、水路、道路など）の改修工事を請負工事として発注する。 老朽化した農業施設及び集落内水路の維持、機能の回復を目的とする。				
事業の対象者	（2名以上の受益者が利用する樋管・農業用排水路・農道など）農業施設及び農村集落内の水路を利用する農業者				
令和4年度 主な活動実績	原材料支給（コンクリート、木柵、防草シート等） 工事採択件数（水路整備、農道補修等） 樋管・樋門等修繕（開閉機修繕、照明交換等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	67,081	61,636	52,644		
うち佐賀市の負担額	67,081	61,636	52,644		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位	
農業振興地域における農用地区域面積					ha	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
12,446	12,443 12,441	12,440 12,437	12,397	12,394		
成果指標②					単位	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	農振除外があった為、面積が減ったと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
農業における後継者不足・高齢化など、農業を取り巻く環境は今後も厳しいことが考えられる。本市としては、今後も原材料支給や工事施工により、農業振興地域における農用地区域面積の維持を目指す。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	水路浚渫事業	事業期間	平成 3 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 農村環境整備係、農業土木係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市内（市街化区域を除く）において、農業用水路の用排水を円滑にし生産力の増強を図る目的で、各生産組合を単位として実施されている水路の浚渫作業に対し補助を行う。 また、地元での対応が困難な水路に限り、農業用水路の用排水を阻害する堆積土や雑木等の撤去を行い、農村集落の環境向上を図る。
事業の対象者	市街化調整区域において農業用水路の浚渫事業を実施する農業者で組織する団体（農業生産組合）
令和4年度 主な活動実績	農業生産組合からの補助金申請に応じて、28件の補助を行った。 また、水路の流水阻害を起こしていた樹木の撤去を行った。

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,940	3,129	2,735		
うち佐賀市の負担額	2,940	3,129	2,735		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補助件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
17	20 25	20 28	20	20		

成果指標②						単位
撤去等対応件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5	5 5	5 6	5	5		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	この浚渫作業により農村集落地域環境の向上及び農家と非農家による共同作業が実施されている地域もあり、地域の交流に寄与し、集落内の水環境も改善されている。



成果目標達成に向けた対応策等

地元での対応が可能な水路浚渫については、地域交流や自立意識向上を図るためにも、補助金を活用した浚渫をお願いする。また、高齢化等により地元対応が不可能な水路については、市と地元の役割を調整しながら一体となって事業を進める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	農村公園維持管理事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 農村環境整備係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	概要：農村振興総合整備事業等により整備した農村公園施設の維持補修 目的：安全で衛生的な管理を行うことで集落内の生活環境の保全及び活性化を図る				
事業の対象者	農村振興総合整備事業等により整備された集落内の世帯				
令和4年度 主な活動実績	地元による遊具点検、修繕、樹木剪定及び除草清掃等の作業委託 ※R4年度実績：散水栓修繕1件、トイレ修繕7件、樹木伐採1件、樹木剪定2件、 トイレ兼休憩所外壁補修工事1件、トイレ解体工事1件、遊具撤去工事1件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,258	3,587	4,287		
うち佐賀市の負担額	1,258	3,587	4,287		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補修件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9	8 7	8 14	8	8		

成果指標②						単位
公園内の事故件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 0	0 0	0	0		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	農村公園は老朽化が進んでおり、今後も遊具撤去、樹木伐採、大規模な施設の修繕は必要である。



成果目標達成に向けた対応策等
施設の老朽化及び農家人口の減少と高齢化に伴い、地元自治会による維持管理は難しくなりつつあるが、安全な利用のため、今後も日常的な管理は地元で行い、トイレや四阿は市で適正な管理に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市川活性化施設管理運営経費	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 農村環境整備係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	概要：県営中山間地域総合整備事業で整備した市川活性化施設の管理運営 (指定管理者：市川自治会) 目的：地域住民と都市住民との伝統芸能を通じた交流並びに農業の振興、農村の活性化				
事業の対象者	地域住民を中心とする利用者				
令和4年度 主な活動実績	平成29年10月～令和 4年9月 指定管理者 市川自治会 令和4年10月～ 令和 9年9月 指定管理者 市川自治会 伝統芸能（天衝舞浮立）の練習・見学・交流会、地域農業の各種会議、住民の集会及び各種団体のサークル活動、新たな農産物や農産物加工品の開発・研究、各種研修会、交流会の会場として利用された。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	60	60	60		
うち佐賀市の負担額	60	60	60		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,314	1,000 948	1,000 1,507	1,300	1,300		

成果指標②						単位
利用団体数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
88	80 63	80 95	80	80		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナ等の状況も落ち着き、利用者数も回復傾向にある。 また、定期的な利用により目標は達成できている。

成果目標達成に向けた対応策等

地区内の利用の推進を図るとともに、地区所有のグラウンドや佐賀市有浮立の里展示館などの他施設も活用しながら、グリーンツーリズム活動、スポーツクラブ等の都市住民等との交流等により、施設の利用拡大を図る。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	排水機場維持管理事業	事業期間	昭和 50 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係、農業土木係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	洪水に備え、市内の主要幹線水路の排水を促し、低平地域である南部の集落の排水と農地の湛水被害を防止することを目的として、嘉瀬、城西、丸目、得仏（国）、得仏（県）、湾道、川上、南里、川副西部、徳永、川副東部、戌辰第2、下新ヶ江、西新地、江戸、干拓、福富、久留間（平成30年度から）の各排水機場を運用上、最適な状態になるよう維持管理する。
事業の対象者	市南部の農地及び農集落居住者
令和4年度 主な活動実績	嘉瀬排水機場外17排水機場の維持管理（運転、機械・電気点検、修理、オイル交換、燃料補充）

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,980	22,539	25,903		
うち佐賀市の負担額	17,980	22,539	25,903		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
農地湛水被害面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 1,713	0 23	0	0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	排水機場を適切に維持管理を行い、最適な状態で運用をすることができたが、想定以上の降雨により水路の排水能力を超え、湛水被害が起こったと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、定期点検等を有効に活用し、排水機場を適切に維持管理することで、低平地域の排水と農地の湛水被害防止に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	多面的機能支払事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	農業・農村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有している。近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化等に伴い農業・農村の有する多面的機能に支障が生じつつあるため、市は地域団体に支援を行い、地域団体は農業・農村の有する多面的機能を維持することを目的とする。				
事業の対象者	農地等の維持管理者				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 市は地域団体に対し、交付金を交付した。 農地維持活動 活動組織数：55 補助対象農用地：809,046a 資源向上活動（共同） 活動組織数：44 補助対象農用地：777,896a 資源向上活動（長寿命化） 活動組織数：51 補助対象農用地：784,545a 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	590,512	616,829	637,492		
うち佐賀市の負担額	145,556	154,208	159,373		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
交付金対象農地					a
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
809,904	809,904 819,439	809,904 818,344	809,904	809,904	

成果指標②					単位
活動組織への交付額					千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
590,512	668,836 616,829	668,836 637,492	668,836	668,836	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	<p>交付金により管理される農地面積は概ね横ばいのため、目標は達成している。</p> <p>活動組織への交付額について、国・県からの交付は、「維持」「共同」が市の要望に対し交付率が100%であったが、「長寿命化」が76.19%であったため、目標は概ね達成している。</p>

成果目標達成に向けた対応策等

交付金は、「維持」「共同」「長寿命化」の3種類ある。国・県からの交付は、「維持」「共同」が市の要望に対し交付率が100%であるが、長寿命化は、近年100%未満である。長寿命化の交付率が100%未満のため、活動組織に対し、交付金が100%交付できていないことから、活動組織の交付金の要望100%を国・県に要求する。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	土地改良区による農業水利施設の管理体制について、農業農村をとりまく情勢の変化に対応し、地域住民等の多様な主体の参画による安定的な体制の整備・強化を図るため、各種活動に対する助成を行う。				
事業の対象者	佐賀土地改良区、佐賀東部土地改良区				
根拠法令等	佐賀県国営造成施設管理体制整備促進事業補助金交付要綱、佐賀市国営造成施設管理体制整備促進事業費補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	34,986	35,108	35,110		
うち佐賀市の負担額	10,496	10,533	10,533		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
佐賀土地改良区交付金対象事業費					千円
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
38,700	38,700	38,700			
活動実績②					単位
佐賀東部土地改良区交付金対象事業費					千円
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
13,296	13,700	11,156			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

引き続き、佐賀土地改良区及び佐賀東部土地改良区へ助成を行うことにより、農業水利施設の管理体制について継続・維持することで、農業水利施設の機能保全に努めていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	横堤保存事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 ほ場整備係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	横堤は、神崎市との境から巨勢川までの延長 1 6 5 0 m にわたる緑地帯。佐賀平野に残された貴重なグリーンベルト、生態系ネットワークの拠点、歴史的遺産として、平成 1 7 年より適切な維持管理のため草刈り等の業務委託を行っている。				
事業の対象者	周辺住民				
令和4年度 主な活動実績	【令和4年度実績】 草刈面積A=9347㎡				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,338	1,365	1,440		
うち佐賀市の負担額	1,338	1,365	1,440		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
横堤内における事故の発生件数					件
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
0	0	0	0	0	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	横堤内における事故の発生等は無く、適正に管理されている。



成果目標達成に向けた対応策等
今後も引き続き地元自治会と協力し適切な維持管理を行う。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	基幹水利施設管理事業	事業期間	平成 20 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係、農業土木係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	筑後川下流土地改良事業により創設された国営幹線水路徳永線・南里線の維持管理が平成20年度から佐賀市へ移管されることに伴い、市の負担軽減のために補助を受けて行う維持管理事業。 用排水路及び排水機場の管理を適切に行うことにより、農業経営の安定化を図るとともに農家の営農負担軽減を図る。
事業の対象者	受益地域の住民及び農地
令和4年度 主な活動実績	徳永線、南里線、城原・金立線の維持管理及び嘉瀬、城西、第2戊申排水機場の維持管理

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	35,931	92,313	40,527		
うち佐賀市の負担額	17,287	34,835	19,573		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
農地湛水被害面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 1,713	0 23	0	0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	排水機場を適切に維持管理を行い、最適な状態で運用をすることができたが、想定以上の降雨により水路の排水能力を超え、湛水被害が起こったと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、定期点検等を有効に活用し、国営幹線水路や嘉瀬等の排水機場を適切に維持管理することで、農地の湛水防止に努める。

令和5年度 事務事業実績報告シート

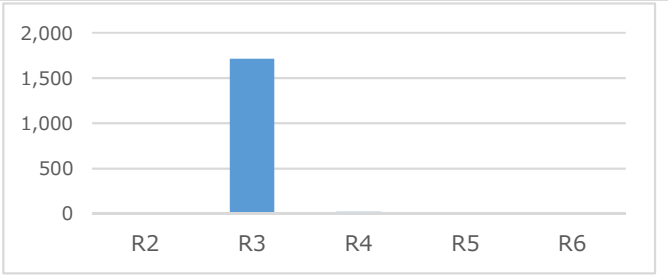
事務事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

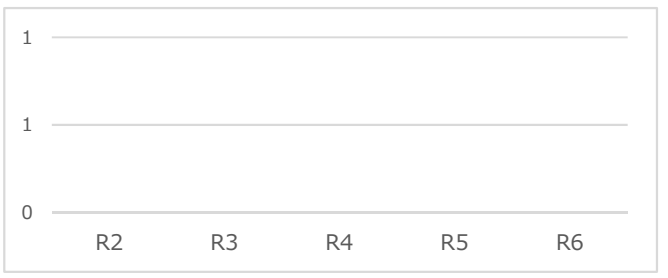
事業概要・目的	農業生産基盤整備の進展に伴い、農業水利施設のストックの増大や、経年変化による老朽化の進行など、今後補修量の増加が懸念されることで、既設施設の有効活用の観点から農業水利施設の長寿命化を図るため、施設の機能診断に基づく、きめ細かな対策工事を実施することでコストの低減や財政負担の平準化を図る。機能診断・保全計画の作成、計画に基づく対策工事を一貫して行う県営整備事業である。				
事業の対象者	事業地区内の受益農家				
根拠法令等	土地改良法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	7,739	41,539	39,965		
うち佐賀市の負担額	6,139	21,439	20,165		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
農地湛水被害面積					ha
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
0	1,713	23			



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>機能診断・保全計画の作成、計画に基づく対策工事を一貫して行う県営整備事業であり、県の事業進捗により、負担金の増減が見込まれる。</p> <p>今後も計画に基づく対策により、農業水利施設の適切に維持管理することで、農地の湛水防止に努める。</p>

令和5年度 公共事業進捗報告シート

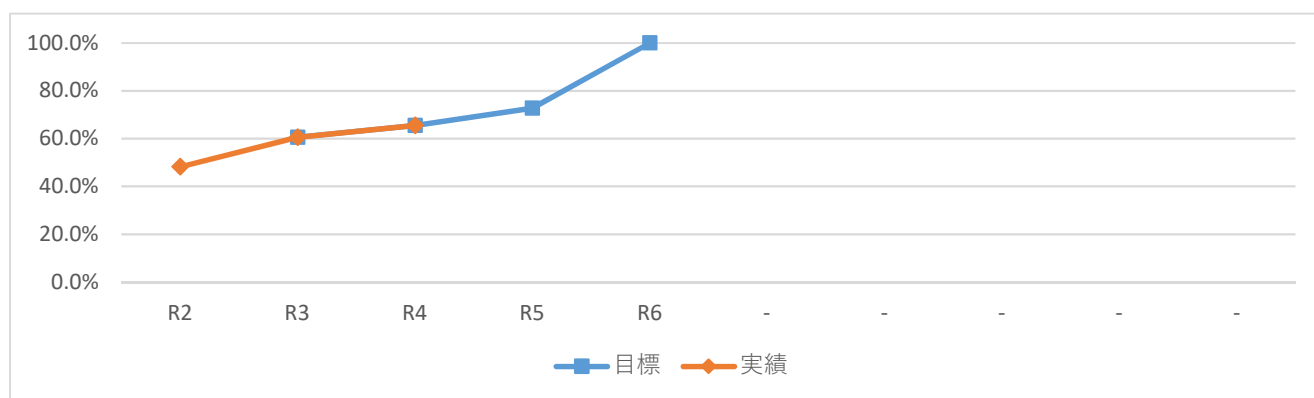
公共事業名	農道整備事業		事業期間	平成 15 ~ 令和 6 年度	
担当部署・係名	農村環境課 ほ場整備係		担当課長名	石丸 啓介	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	04総合的な農業の振興			
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理			

1 公共事業の基本情報

整備概要	農道の舗装、補修及び維持管理。農道舗装延長：235,632m ※長期継続の事業であるが、令和2年度から令和6年度までの進捗で示す				
整備の目的	集落や地域を結ぶ農道において、農産物の集出荷のために整備するとともに、適正な維持管理を行う。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
工事請負費	41,321		984		
測量・監理等委託料	19,412	14,753	7,267		
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	1,633	1,342	1,264		
計	62,366	16,095	9,515		
うち佐賀市の負担	30,810	5,295	9,515		
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					42,305
測量・監理等委託料					41,432
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					4,239
計					87,976
うち佐賀市の負担					45,620

2 事業の進捗率

R2	R3	R4	R5	R6					
目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	60.6%	65.5%	72.8%	100.0%					
48.2%	60.6%	65.5%							



令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	農地耕作条件改善事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 9 年度
担当部署・係名	農村環境課 ほ場整備係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	農地中間管理機構による担い手への農地集積を推進するとともに、基盤整備を実施することで、農地の耕作条件を改善し、地域農業の生産性の向上を図る。				
事業の対象者	事業地区内の受益農家				
令和4年度 主な活動実績	土層改良工 A=0.99ha 農道舗装補修工 L=897m 湧水処理工 L=4,059m 測量設計委託 一式に着手している。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	13,296	59,607		
うち佐賀市の負担額	0	2,346	8,153		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
要望事業費に対する実績					%
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
0	3	12	36	52	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	計画のとおり事業を実施している。



成果目標達成に向けた対応策等
事業採択要件である、農地中間管理機構を活用した農地集積を推進する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	水草除去事業	事業期間	平成 4 ~
担当部署・係名	農村環境課 農業土木係	担当課長名	石丸啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	水路の管理主体は、集落内およびほ場整備地区外は周辺の住民（農家・非農家）、ほ場整備地区内は土地改良区（農家）と位置付けている。地域活動による水草の早期（発芽時期）除去を定着させ、除去体制を整える。また、大規模に繁茂する特定外来種（ナガエツルノゲイトウ・ブラジルチドメグサ）を除去・防除することによって水路の排水機能低下の防止、揚水ポンプ等の機能低下の防止を図る。				
事業の対象者	基幹的（水路幅が概ね10m以上）農業用排水路で、繁茂が著しい排水路の受益を受ける農家及び有明海沿岸を漁場とする海苔漁業従事者。				
令和4年度 主な活動実績	通常の水草除去に併せ、特定外来種水草（ナガエツルノゲイトウ・ブラジルチドメグサ）除去を行った。 ・農業用排水路水草除去：嘉瀬地区、鍋島地区、北川副地区、久保田地区、東与賀地区 ・ナガエツルノゲイトウの除去：嘉瀬地区、鍋島地区 ・ブラジルチドメグサの除去：川副地区、久保田地区				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	35,407	35,270	34,770		
うち佐賀市の負担額	35,407	35,270	34,770		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
湛水被害						億円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 2	0 0	0	0		

成果指標②						単位
						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	特定外来生物の除去を行うことによって、樋門の詰まり等は抑制できたが、想定以上の降雨により水路の排水能力を超え、湛水被害が起こったと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き特定外来生物の除去を行うことで、生育区域が拡大しないよう繁茂を抑制し、有明海への水草流出防止や、農地の湛水防止に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	水草対策浚渫事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	農村環境課 農業土木係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	嘉瀬地区水路内にある特定外来生物の除去、浚渫及び法面整形を行う。 嘉瀬地区水路内に堆積した土砂等を撤去することで、用排水断面の確保など機能保全を図り、湛水被害等を未然に防ぐことを目的とする。
事業の対象者	県営クリーク事業の対象外路線の農業用排水路を利活用する農業者
令和4年度 主な活動実績	嘉瀬地区内の5路線の水路浚渫、特定外来生物の除去工事を発注した。(R4線越)

決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	2,830	44,470		
うち佐賀市の負担額	-	0	44,470		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
湛水被害 (嘉瀬地区)						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 509	0 0	0 0	0 0		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	509
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

成果指標②						単位
						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	水路浚渫、特定外来生物の除去を行うことによって、用排水断面の確保、樋門の詰まり等は抑制できたが、想定以上の降雨により水路の排水能力を超え、湛水被害が起こったと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等

引き続き水路浚渫、特定外来生物の除去を行うことで、用排水断面の確保、特定外来生物の生育区域が拡大しないよう抑制し、農地の湛水防止や、有明海への水草流出防止に努める。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	クリーク防災機能保全対策事業	事業期間	平成 24 ~ 令和 11 年度
担当部署・係名	農村環境課 ほ場整備係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	ほ場整備事業で整備した水路は経年劣化により法面の崩壊や土砂の堆積が発生し排水機能が低下している。クリーク防災機能保全対策事業で浚渫および護岸整備を行うことで、排水機能及び洪水調整機能の回復、強化をおこない、農業生産の向上を図る。				
事業の対象者	事業地区内の受益農家				
根拠法令等	土地改良法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	79,043	63,021	49,870		
うち佐賀市の負担額	5,743	4,821	3,170		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
事業進捗率（事業費による護岸整備見込み延長）					%	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
65	67	69				
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>今後の事業進捗率は、事業計画の通り実施される見込み。</p>

令和5年度 事務事業実績報告シート

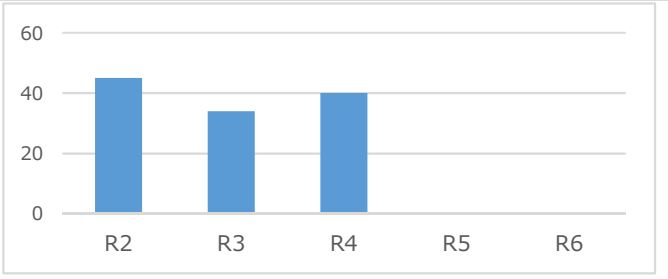
事務事業名	土地改良施設適正化補助事業	事業期間	平成 16 ~	年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係	担当課長名	石丸 啓介	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理		

1 事務事業の基本情報

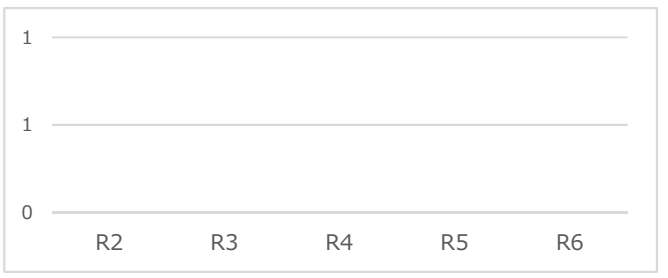
事業概要・目的	ほ場整備事業等で整備された水路等の適正な維持管理を目的に、市内の各土地改良区が実施する水路の浚渫、補修及び樋門の修繕等に対補助することにより、適正な農業用施設の維持管理を図る。				
事業の対象者	各土地改良区が実施する事業の受益者である市内の農家等				
根拠法令等	佐賀市補助金等交付規則、佐賀市土地改良施設維持管理事業補助金交付要綱、佐賀市基盤整備促進事業補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	41,251	36,656	34,270		
うち佐賀市の負担額	41,251	36,656	34,270		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
水路等の浚渫、修繕件数					箇所
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
45	34	40			



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>各土地改良区は事業計画等を策定し、それぞれの所管する水路等について逐次、修繕等を実施している。このため、今後も令和4年度実績と同程度で推移すると思われる。</p>
--

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	経営体育成基盤整備事業（法定）	事業期間	平成 24 ~ 令和 13 年度
担当部署・係名	農村環境課 ほ場整備係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	区画整理や経年劣化による暗渠排水、農業用排水施設整備を行い、担い手（大規模農家、集落営農）への利用集積を推進し、効率的、安定的な経営体を育成させ、所得安定対策の推進を図る県営事業 ・鍋島東地区 ・鍋島本村地区 ・高木瀬地区 ・久保田地区				
事業の対象者	事業地区内の受益農家				
根拠法令等	土地改良法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	99,072	94,329	79,235		
うち佐賀市の負担額	25,972	30,929	20,035		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
事業進捗率（事業費ベースによる進捗）					%	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
76	87	52				
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>今後も事業進捗率は事業計画の通り実施される見込み。 農業生産基盤整備の促進を通じて、水田の大区画化を進めるとともに、農業近代化施設の導入を推進し、効率的かつ安定的な農業経営を推進していく。</p>

令和5年度 公共事業進捗報告シート

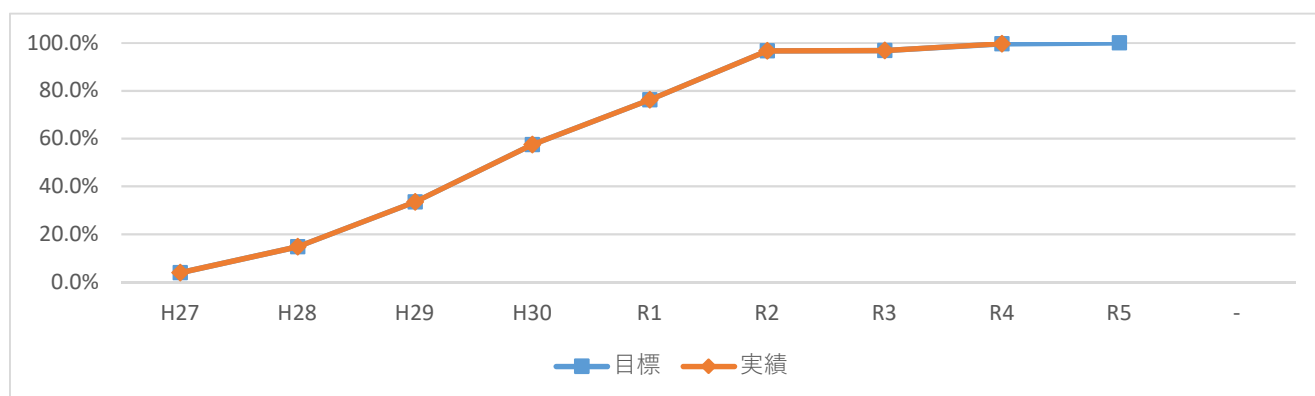
公共事業名	経営体育成基盤整備事業		事業期間	平成 27 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	農村環境課 ほ場整備係		担当課長名	石丸 啓介
総合計画に おける位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理		

1 公共事業の基本情報

整備概要	高木瀬ほ場整備下流地区（兵庫地区） 水路整備 L=1,690m 農道整備 L=601m 樋門改修 N=1箇所 揚水機場 N=1箇所				
整備の目的	水田の有効利用の支障となる用水不足の解消、ほ場への通作の安全性確保により、農業の生産性向上を図るとともに、担い手への農地集積を促進する。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
工事請負費		20,400	51,299	65,526	54,092
測量・監理等委託料	11,341	11,675	3,059	475	253
用地購入費				4,314	
補償費			621	105	351
その他事務費等					
計	11,341	32,075	54,979	70,420	54,696
うち佐賀市の負担	11,341	20,917	29,699	37,662	29,598
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
工事請負費	57,328	1,143	4,774		254,562
測量・監理等委託料	1,892		4,609		33,304
用地購入費					4,314
補償費	931				2,008
その他事務費等	77				77
計	60,228	1,143	9,383		294,265
うち佐賀市の負担	34,384	1,143	9,383		174,127

2 事業の進捗率

H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標 実績	目標 実績
3.9%	14.8%	33.5%	57.5%	76.2%	96.7%	96.8%	99.7%	100.0%	



令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	かんがい排水事業	事業期間	平成 24 ~ 令和 7 年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	農業用水の安定供給を目的に佐賀西部高域地区（大和地区）で用排水路工を工事している「県営かんがい排水事業」の市町負担金であり、農業用水の安定確保のため、農業用排水施設の整備を行い、農業の生産性の向上を図ることを目的とする。				
事業の対象者	県営かんがい排水事業の受益者である佐賀西部高域地区（大和地区）の農家等				
根拠法令等	土地改良法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	13,054	814	6,048		
うち佐賀市の負担額	6,954	514	3,348		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
工事が完了した用排水路工の延長					m
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
497	1,043	387			
活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>県営事業で工事予定の用排水路工は全体で約15,000m。令和4年度末の進捗率は78%である。令和2年度は国の追加補正により前倒しを行っているため、決算額は令和2年度増額、令和3年度減額となっている。今後は令和4年度と同程度で推移すると思われる。</p>

令和5年度 公共事業進捗報告シート

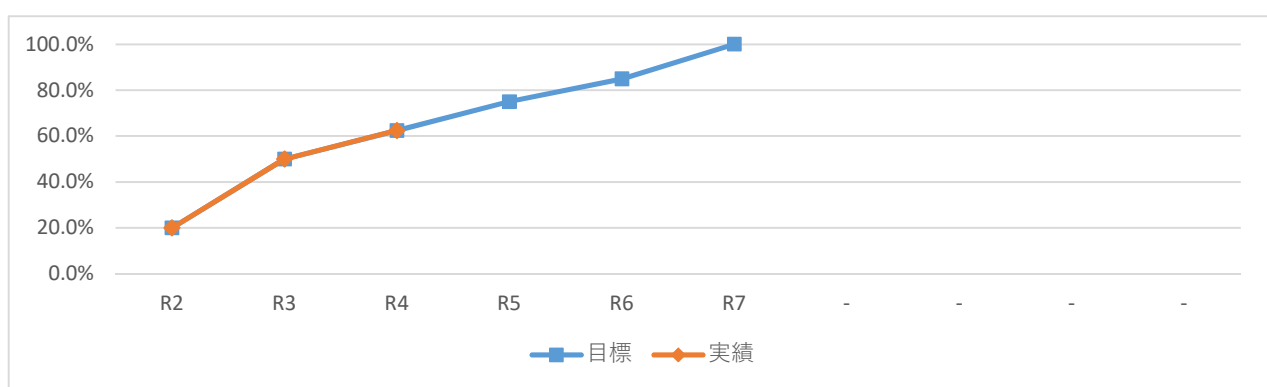
公共事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 7 年度
担当部署・係名	農村環境課 農業土木係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画に おける位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 公共事業の基本情報

整備概要	・ため池の補修や廃止（地元からの要望によるもの） ・防災重点農業用ため池のハザードマップ作成及びハザードマップのQRコードと注意喚起を掲示した看板設置 ・防災重点農業用ため池の劣化診断・豪雨耐性診断・耐震診断				
整備の目的	近年、集中豪雨や地震などによる自然災害でため池の決壊に起因する被災が多発し、住民の被災リスクが高まっている。ため池による災害を未然に防止するために、ため池施設の劣化・豪雨・耐震診断を行い、今後必要な対策を講じていくとともに、農業用水として使用しなくなったため池については廃止工事を行う。 また、自然災害でため池が決壊した場合に想定される浸水の範囲や深さ、避難場所などの情報をまとめたハザードマップを作成し、ホームページや看板を通して市民に周知することで、被害拡大を防ぐ。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	年度	年度
工事請負費		34,217	3,005		
測量・監理等委託料	13,519	16,569	43,093		
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	75	91			
計	13,594	50,877	46,098		
うち佐賀市の負担	75	1,452	468		
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					37,222
測量・監理等委託料					73,181
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					166
計					110,569
うち佐賀市の負担					1,995

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	R7	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	20.0%	50.0%	62.5%	75.0%	85.0%	100.0%								
	20.0%	50.0%	62.5%											



令和5年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	農村振興総合整備事業		事業期間	平成 24 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	農村環境課 農村環境整備係		担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理		

1 公共事業の基本情報

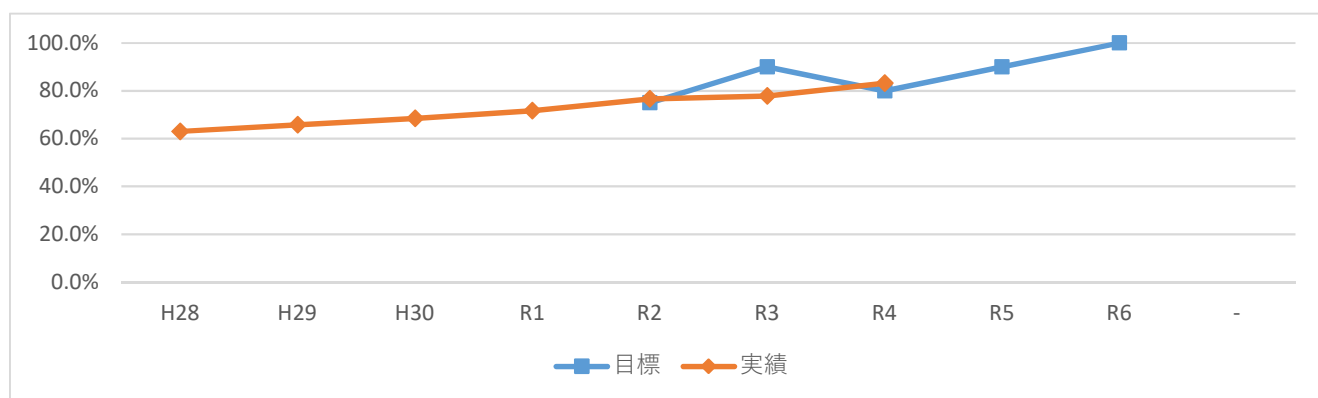
整備概要	農業基盤の整備とその機能の発揮に不可欠な集落基盤の整備を一体的に実施する。 集落道 8 箇所、集落排水施設 4 9 箇所 なお、令和4年度に増額と延伸の変更計画を行った。
整備の目的	集落周辺の地域における農業生産性の向上を図るため、農業集落道及び集落排水施設を整備する。

事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	H24~H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
工事請負費	925,046	49,616	49,942	63,526	74,353
測量・監理等委託料	199,861	2,058	6,471	5,356	9,152
用地購入費	16,341				
補償費	58,810			635	4,303
その他事務費等	10,478	2,642	2,700	2,638	2,901
計	1,210,536	54,316	59,113	72,155	90,709
うち佐賀市の負担	499,594	23,043	28,014	23,924	19,562
区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	合計
工事請負費	193,029	170,738			1,526,250
測量・監理等委託料	17,352	22,886			263,136
用地購入費					16,341
補償費	152				63,900
その他事務費等	2,970	2,848			27,177
計	213,503	196,472			1,896,804
うち佐賀市の負担	62,199	85,658			741,994

2 事業の進捗率

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
63.0%	65.8%	68.5%	71.7%	75.0%	90.0%	80.0%	90.0%	100.0%	



令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	地盤沈下対策事業	事業期間	平成 3 ~ 令和 8 年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係	担当課長名	石丸 啓介
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市・小城市の受益面積：9,434ha(うち佐賀市7,406ha)、総事業費156億円 地盤沈下に起因する施設の機能を従前の状態に回復するために必要な用水施設や排水施設の新設や改修等を行い、農業生産性の向上と農村地域の保全を図る。				
事業の対象者	事業地区内の受益農家				
根拠法令等	土地改良法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	10,337	3,445	0		
うち佐賀市の負担額	1,237	445	0		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
事業進捗率					%	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
90	90					
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>令和5年度以降は川副・東与賀地区の水路改修工の予定。 今後地盤沈下対策事業の状況によっては、延長の可能性もある。</p>
